

第7回「地震・防災リレーセミナー」開催報告

REICでは、防災意識の向上と幅広い防災・減災対策の推進に資する目的で「地震・防災リレーセミナー」を、地震予知総合研究振興会(ADEP)と共催で定期的を開催しています。

その第7回が、2月21日(金)17:30~19:00、ADEPの会議室にて開催されました。講師は(独)防災科学技術研究所の臼田裕一郎氏を予定しておりましたが、直前に体調を崩されたことで急遽同研究所の田口仁氏にお願いしました。

田口氏は、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻博士課程修了し博士(工学)を取得。専門分野は災害情報学、リスク学、空間情報学で2009年より防災科研の社会防災システム研究領域に研究員として赴任し、災害リスク情報を活用した地域防災の高度化手法の開発とそれを支援する情報システムの開発に従事されています。

講演題目は「情報を活用した官民協働型の地域防災」。分散して存在する「専門知」や「経験知」を、個人や地域が自ら獲得・活用して「自分知・地域知」を高度化し、自ら「防災」を計画・実行する社会へ、というテーマです。

それを実現するための技術の一つとして「eコミュニティ」という防災科研が研究開発を行っているオープンな情報プラットフォームを活用した事例の紹介がありました。災害リスク情報と住民保有情報で地域の防災対策に活用するというものです。またそれを全国に広めるための「防災コンテスト」という防災マップや防災ラジオドラマのコンテストについても過去の受賞作品を中心に紹介されました。

次回は、平成26年4月25日(金)17:30~19:00、会場は同じくADEPの会議室で開催する予定です。講師は東京大学生産技術研究所教授の目黒公郎氏。講演題目等詳細は、決まり次第またご案内します。